

8月

佐賀県同和問題

そっとしていても、同和問題は自然にはなりません

多久市では、「寝た子を起こすな」ではなく、「寝ている子を正しく起こそう」という取り組みを行っています。「寝た子を起こす」ということは、「同和問題を全然知らない人には正しく教える」ということで、「間違っていて知っている人には正しく認識してもらおう」ということです。「寝た子を起こすな」（あまりさわがず、そっとしておけば同和問題はなくなる。）という考え方では、同和地区に対する偏見や誤った認識はそのまま残り、差別はいつまでもなくなりません。同和問題が自分の身にふりかかったとき、差別する心が表われるのです。

もし、あなたが自分ではどうしようもないことで差別をされるとしたら、どのような気持ちになりますか。差別されることについて仕方がないと納得できますか。自分を差別される側の立場で考えてみる必要があるのではないのでしょうか。人はだれでも差別されず、幸せに生きる権利（人権）があるのです。

学びから行動へ。同和問題の解決のためには、私たち一人ひとりが偏見を持たず、正しく知る（学ぶ）ことが大切です。学ぶことで人権意識が高まり、差別をなくす態度や行動に現れるという調査結果があります。

多久市は「孔子の里」としてまちづくりを推進しており、子どもたちは学校で、孔子の教えである「恕の心」（思いやりの心）の大切さを学んでいます。市民総ぐるみで人権が尊重される魅力のあるまちづくりを推進していきます。

「同和問題啓発強調月間」に行われる講演会や学習会に、ぜひ、ご参加ください。



同和問題啓発ポスター（多久市）

多久市では、同和問題の解決のため、さまざまな啓発活動を行っています。ぜひご参加ください。

出前講座・企業研修

市では、人権・同和問題の出前講座を行っています。地域での寄り合いの場、老人クラブの定例会、PTAの集まり、地域婦人会の定例会、サークル活動などの場に、参加者の人数を問わずご希望の場所に伺います。また、企業で人権・同和問題の研修をされるときにも講師を派遣します。

人権啓発パネル展

さまざまな差別や人権問題を紹介する啓発パネルを展示します。ぜひご覧ください。

■日時 7月29日(金)～8月5日(金)

■場所 多久市役所 市民ホール

▶問い合わせ 人権・同和对策課